CLIPPEDIMAGE= JP403011514A

PAT-NO: JP403011514A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03011514 A

TITLE: DISPLAY DEVICE

PUBN-DATE: January 18, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

AKIMOTO, KAZUHIKO TOYODA, TAKASHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY SHARP CORP N/A

APPL-NO: JP01146327

APPL-DATE: June 8, 1989

INT-CL (IPC): H01H036/00;G02F001/133;G02F001/133

;G02F001/1347 ;G09F009/00

;G09G005/02

US-CL-CURRENT: 200/182

### ABSTRACT:

PURPOSE: To enhance light transmission and reflection efficiencies to obtain a bright display screen by forming touch panel electrodes on the opposite faces of a pair of transparent bases which form a color tone correcting liquid crystal panel, and using the color tone correcting liquid crystal panel also as a touch switch panel.

CONSTITUTION: In a color tone correcting liquid crystal panel 22 located at the second layer, light converted to elliptically polarized light when it passes

01/25/2003, EAST Version: 1.03.0002

through a character display liquid crystal panel 21 is converted to rectilinearly polarized light whereby proper black-and-white mode display is carried out. When a position on the color tone correcting liquid crystal panel 22 corresponding to one or several characters of character patterns displayed by the character display liquid crystal panel 21 is pressed a pair of touch switch electrodes 33 grade-separated at that position are connected so that a signal indicative of selecting one of character patterns displayed is input: i.e., the color tone correcting liquid crystal panel 22 also serves as a touch switch panel.

COPYRIGHT: (C) 1991, JPO&Japio

01/25/2003, EAST Version: 1.03.0002

## ⑩ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

# ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平3-11514

®Int. Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	@公開	平成3年(1991)1月18日
H 01 H 36/00 G 02 F 1/13	L 3 500 530	6969-5G 8806-2H 7709-2H		
1/13 G 09 F 9/00 G 09 G 5/02		8806-2H 6422-5C 8121-5C 塞香請求		情求項の数 2 (全6頁)

②特 願 平1-146327

@出 願 平1(1989)6月8日

**伽発 明 者 秋 元 一 彦 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号** シャープ株式会社

内

**@発明者豊田 恭士 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社** 

内

⑪出 願 人 シャープ株式会社 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

個代 理 人 弁理士 西教 圭一郎 外1名

明 細 書

#### 1、発明の名称

表示装置

#### 2 特許請求の範囲

(1) タッチスイッチ用電極の形成された一対の透明基板を互いの電極形成面が対向し合うよの配置し、透明基板を押圧し対向し合う電極間を導立させることによって信号の入力を行うように重ねなり、チスイッチ機能付きの表示装置において、

(2)タッチスイッチ用電極の形成された一対のガラス基板を互いの電極形成面が対向し合うように

配置し、ガラス基板を押圧し対向し合う電極間を 導通させることによって信号の入力を行うように したタッチスイッチパネルを、表示パネルに重ね て配置したタッチスイッチ機能付き表示装置にお いて、

前記タッチスイッチパネルの一対のガラス基板間に透明な液体を充填したことを特徴とする表示装置。

## 3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、表示パネルに重ねてタッチスイッチ パネルを配置したタッチスイッチ機能付きの表示 装置に関する

#### 従来の技術

第3回は従来のタッチスイッチ機能付き表示装置の概略的な構成を示す断面図である。この表示装置は液晶表示パネル1に重ねて入力装置であるタッチスイッチパネル2を配置したものである。そのうち、液晶表示パネル1は、表示用電極3の形成された一対のガラス基板4をそれらの電極形

成面が対向し合うように液晶5を挟んで対向配置させ、さらに各ガラス基板4の電極形成面とは反対側の表面に偏光板6を貼り付けて 成されている。一対のガラス基板4間には液晶5を封止するためのシール7が介装され、この液晶表示パネル1の片面側にはバックライト光源8が配置される。

一方、タッチスイッチパネル2は、上記液晶表示パネル1のバックライト光源8配置側とは反対側の偏光板6上に設置される。このタッチスイッチパネル2は、タッチスイッチ用電極の形成されたガラス基板などから成る一対の透明板をそれらの電極形成面が対向し合うように重ねて構成され、透明板を押圧することによって対向し合うタッチスイッチ用電極間をオンさせ、それによって信号の入力を行うようにしてある。

第4図は、表示用液晶パネル9の上に色調補正用液晶パネル10を重ねて構成された2層構造の表示パネル(以下、DST表示パネルと略称する)の従来例の概略的な構成を示す断面図である。

第4図において、1層目の表示用液晶パネル9

-3-

ように表示パネル(液晶表示パネル1)に別のタッチスイッチパネル2を重ねてタッチスイッチ段能を付加する構成では、第4図に示すようなDSで表示パネルに適用した場合、その色調補正用ではのの偏光板6上になる。このではいるないのののではなり、光の透過、反射効率がそれだけ低下しまいのの。光の透過、反射効率がそれだけ低下しま示画面が暗くなるという問題点があった。

また、従来の表示装置ではタッチスイッチバネル2の一対の透明板間に空隙部が介在するため、これら一対の透明板間に介装させるシールの厚みむらや透明板の歪みなどに起因してタッチスイッチバネルにニュートンリングが生じ、表示品位を著しく低下させるという問題点もあった。

したがって、本発明の目的は、表示品位の良好なタッチスイッチ機能付きの表示装置を提供することである。

課題を解決するための手段

は第3図に示す液晶表示パネル1とほぼ同一構造を有しており、この表示用液晶パネル9ではパックライト光源8と対向する一方のガラス基板4個にのみ偏光板6が貼り付けられている点が第3図の液晶表示用パネル1と異なる。

一方、2個目の色調補正用液晶パネル10は、液晶5を挟んで一対のガラス基板11を対向配置させたものであり、各ガラス基板11には電極は形成されていない。ガラス基板11間には液晶5を封止するためのシール12が介装され、表示用液晶パネル9とは反対個のガラス基板11上にもう一方の偏光板6が貼り付けられている。

上記 D S T表示パネルにおいては、1 層目の表示用液晶パネル9によって白黒モードの表示が行われる一方、2 層目の色調補正用液晶パネル1 Oでは、表示用液晶パネル9を通過して楕円偏光となった光が直線偏光に変換され、これによって適正な白黒モードの表示が行われる。

発明が解決しようとする課題 しかしながら、第3図に示す従来の表示装置の

-4-

本発明の第1は、タッチスイッチ用電極の形成された一対の透明基板を互いの電極形成面が対向し合うように配置し、透明基板を押圧し対向し合う電極間を導通させることによって信号の入力を行うようにしたタッチスイッチ機能付きの表示装置において、

前記表示パネルが液晶パネルから成り、この液晶パネルに重ねて配置される色調補正用液晶パネルの液晶層を挟む一対の透明基板の互いに対向し合う面に前記タッチスイッチ用電極を形成することによって、この色調補正用液晶パネルを前記タッチスイッチパネルに兼用するようにしたことを特徴とする表示装置である。

また本発明の第2は、タッチスイッチ用電極の 形成された一対のガラス基板を互いの電極形成面 が対向し合うように配置し、ガラス基板を押圧し 対向し合う電極間を導通させることによって信号 の入力を行うようにしたタッチスイッチパネルを 表示パネルに重ねて配置したタッチスイッチ機能 付き表示装置において、

前記タッチスイッチパネルの一対のガラス基板 間に透明な液体を充填したことを特徴とする表示 装置である。

作用

本発明の第1の表示装置に従えば、色調補正用液晶パネルを構成する一対の透明装板の互いに対向し合う面にタッチスイッチ用電極が形成されているので、この色調補正用液晶パネルがタッチスイッチパネルを別に付加しない分だけ光の透過・反射効率が高くなり、表示画面が明るくなり、

また、本発明の第2の表示装置に従えば、タッチスイッチパネルを構成する一対のガラス基板間の空隙部にガラス基板に近い屈折率を持つ透明の液体が充填されているので、タッチスイッチパネルでのニュートンリングの発生が防止され、表示品位が向上する。

実 施 例

第1図は本発明の第1の実施例であるタッチス

-7-

一方、2層目の色調補正用液晶パネル22は、液晶25を挟んで一対のガラス基板31を対向配置させるとともに、各ガラス基板31の互いに対向し合う面にタッチスイッチ用電極33を形成して構成されている。一対のガラス基板31間には液晶25を封止するためのシール32が介装され、表示用液晶パネル21とは反対側のガラス基板31上にもう一方の偏光板26が貼り付けられている。

上記一対のガラス基板31のタッチスイッチ用電極33は、これらの電極33の立体交差部が表示用液晶パネル21の文字パターン表示を担う画素領域の1文字分あるいは数文字分に対応付けられるように形成されている。

上記DST表示パネルでは、1 層目の表示用液晶パネル21において、その表示用電極23に選択的に電圧を印加することによって液晶25の各画素部分の光学特性が変化し、これによって白黒モードによる画像や文字パターンの表示が行われる。また、2 層目の色調補正用液晶パネル22で

イッチ 機能付きの表示装置の 機略的な構成を示す 断面図である。

この表示装置は表示用液晶パネル 2 2 を配置し、 D S T 表示 パネル 2 2 を配置し、 D S T 表示 パネルとしたものである。そのうち 1 層目の表示 れんしたものである。そのうち 1 層目の表示 れんした 4 を であるのである。そのうち 1 層目の表され かっかっ ス 基 板 2 4 を それらの 電極 形成 面面 を が かっし 合うように 液晶 2 5 を 挟んで 対向 反 が り る で を 形成 面 で と は 液晶 2 5 を 封 止 す の か ラ ス 基 板 2 4 間に は 液晶 2 5 を 封 止 す の か つ レ 2 7 が 介 装 され、この 表 示 用 液晶 パネル 2 1 の 偏光 板 2 6 設置 側に は バックライト光源 2 8 が配置される。

上記一対のガラス基板 2 4 の表示用電極 2 3 によって挟まれる液晶 2 5 の各部がこの表示用液晶パネル 2 1 の画素となり、ここでは画像表示を担う画素領域と、文字パターン表示を担う画素領域(たとえば 1 2 8 × 2 4 0 ドット)とに分けて構成されている。

-8-

は、表示用液晶パネル21を通過して楕円偏光となった光が直線偏光に変換され、これによって適 正な白黒モードの表示が行われる。

一方、表示用液晶パネル21によって表示される文字パターンの任意の1文字分あるいは数文字分の部分に相当する色調補正用液晶パネル22上の位置が押圧されると、その位置で立体交差する一対のタッチスイッチ用電極33間がオンとなり、これによって表示された文字パターンの1つを選択する信号の入力が行われる。すなわち、色調補正用液晶パネル22はタッチスイッチパネルを兼ねることになる。

なお、色調補正用液晶パネル22は表示機能上においては電気的な駆動とは全く無縁であり、したがって上記タッチスイッチ用電極23の介在が表示品位に悪影響を及ぼすことはない。

色調補正用液晶パネル 2 2 に加えられる入力 操作のための押圧力が弱い条件の場合(たとえば押圧力が100g/cm²以下)には、色調補正用液晶パネル 2 2を構成するガラス基板 3 1 を透明

フィルムに置き換えてもよい。

第2図は本発明の第2の実施例であるタッチスイッチ機能付きの表示装置の概略的な構成を示す 断面図である。

上記一対のガラス基板44の表示用電極43によって挟まれる液晶45の各部がこの液晶表示パネル41の面素となり、画像表示を担う画案領域と文字パターン表示を担う画案領域に分けて構成されていることは先の実施例における表示用液晶パネル21の場合と同様である。

-11-

イッチ用電極48が形成されることは、先の実施 例の場合と同様である。

上記表示装置では、1層目の液晶表示パネル4 1 において、その表示用電極43 に選択的に電圧 を印加することによって液晶45の各画紫部分の 光学特性が変化し、これによって画像や文字パタ ーンの表示が行われる。またタッチスイッチパネ ル42では、液晶表示パネル41によって表示さ れる文字パターンの任意の1文字分あるいは数文 字分に相当する位置が押圧されると、その位置で 立体交差する一対のタッチスイッチ用電極48間 がオンとなり、これによって表示された文字パタ ーンの1つを選択する信号の入力が行われる。タ ッチスイッチパネル42の一対のガラス基板49 で挟まれる空隙部には、上述したようにガラス基 板49に近似した屈折率を持つ無色透明の液体5 0 (液状シリコン)が充填されているため、一対 のガラス基板49間に介挿されるシール51に厚 みむらがあったり、ガラス基板49に歪みがあっ ても、これらに起因してニュートンリングが発生 一方、2 閉目のタッチスイッチパネル4 2 は、たれだれタッチスイッチ用電極4 8 の形成ででが対した配置するとともに、これがのがラス基板4 9 をそれるの電極形成の一対のがラス基板4 9 に近似した屈折率を持つ無色透明のカス 基板4 9 に近似でいる。一対のガラス基板4 9 間には上記液体5 0 を封止するシール5 1 1 が介装され、また液晶表示パネル4 1 とは反対のがラス基板4 9 上には別の優光板4 6 が貼り付けられている。

ここでは、上記液体 5 0 と して 液状 シリコン (たとえば 東レ株式会社製; 東レシリコン S H 2 2 0 0 - 0 . 6 5 C S ) が使用される。上記ガラス基板 4 9 の屈折率が 1 . 5 2 であるのに対し、この液状シリコンの屈折率は 1 . 3 7 5 である。

上記一対のガラス基板 4 9 のタッチスイッチ用電極 4 8 の立体交差部が液晶表示パネル 4 1 の文字パターン表示を担う 画素 領域の 1 文字分あるいは数文字分に対応付けられるように、各タッチス

-12-

することはなく、ニュートンリングの発生による 表示品位の劣化は防止される。

なお、上記実施例ではタッチスイッチパネル42の空隙部に充填する液体50として液状シリコンを用いた場合について説明したが、このほか純水などを用いてもよい。また、液体50に染料を添加してもよく、その場合には表示画面をその染料に応じた各種の色調に調整することができる。

発明の効果

以上のように、本発明の第1の表示装置によれば、色調補正用液晶パネルを構成する一対の透明 基板の互いに対向し合う面にタッチスイッチ用電 極を形成して、この色調補正用液晶パネルをタッ チスイッチパネルに兼用するようにしているので、 光の透過・反射効率が高くなり明るい表示画面を 得ることができる。

また本発明の第2の表示装置によれば、タッチスイッチパネルを構成する一対のガラス基板間の 空隙部にガラス基板に近い屈折率を持つ透明の液 体を充填するようにしているので、タッチスイッ チパネルでのニュートンリングの発生が防止され、 表示品位の向上を図ることができる。

#### 4、図面の簡単な説明

第1 図は本発明の第1 の実施例であるタッチスイッチ機能付き表示装置の概略的な構成を示す断面図、第2 図は本発明の第2 の実施例であるタッチスイッチ機能付き表示装置の概略的な構成を示す断面図、第4 図はDST表示パネルの一例を示す断面図である。

 2 1 … 表示用液晶パネル、 2 2 … 色調補正用液晶パネル、 3 1 … ガラス基板、 3 3 … タッチスイッチ用電極、 4 1 … 液晶表示パネル、 4 2 … タッチスイッチ用電極、 4 9 … ガラス基板、 5 0 … 液体

代理人 弁理士 西教 圭一郎

-15-





